

# 井奥まさきの市政ニュース

自宅 兵庫県高砂市荒井町新浜2-19-9 E-MAIL ioku3@gmail.com HP http://ioku3.sakura.ne.jp/  
 TEL 079-444-2343 FAX 079-444-2418 2018年5月下旬号 通算123号

## 議会改革 議員定数2削減 私は賛成しました

### 削減賛成派参考人の意見など

市民からの厳しい声を意識すべき。財政や人口減から削減は必要。声なき声を少数でも行政に活かしていくことが重要。

### 削減反対派参考人の意見など

削減で民意が反映しづらく、立候補しにくくなる。議会費は予算の1%以下。しっかりと議員がチェックをすべきで削減は逆行



4大事業により総額500億円の高砂史上最大の借金時代が予定されています。それに加え、9万1000人台に目減りした人口、市民病院の赤字補てんなど財政上の不安要素が大きくなっています。私は「定数は少なければいい」とは思いません。民意の反映とバランスをとる数字を考えるべきです。しかし、**今回は賛成しました**。削減数2は類似団体に比べても大きな削減ですが、それは高砂市

自治体名	人口	議員定数
三田市	11.3万人	22
芦屋市	9.4万人	21
丹波市	6.5万人	20
高砂市 (次回より)	9.1万人	19

県内の類似団体の状況  
人口は最新情報を反映

定数21 → 19  
2名を削減

2014市議会議員 選挙結果 (抜粋)			
	候補者名	会派	票
18位	鈴木としのぶ	未来ネット	1349
19位	井奥まさき	緑の党	1225
20位	いしざき徹	明風会	1204
21位	さかべ勝彦	共産党	1199

21票差

前回結果をあてはめると現職四人が危険水域有力新人らと激戦か。

の他市にない厳しい財政・社会状況を反映した結果です。市長や市役所も議会の姿勢を受け止めて「削る」議論（特に箱もの、補助金）や人口増対策をしっかりと行って欲しいものです。

さらに各議員や議会の自覚も問われます。支持者の代表として自分たちの支持者の意見をしっかりと聞き、議会で公開の場で議論して合意をはかること。そしていつも「代表されない民意」を議会全体で意識して「開かれた議会」を実践することです。私は**削減された予算の一部を情報公開や市民参加に使う**ことを提言しました。

さて、結果として2018年9月2日投票予定の高砂市議会議員選挙は大激戦となりそうですが、それも民主主義です。

## 私の姿勢 議員は選挙時の報酬額が上限 私は4年間議員の報酬アップに反対

議員定数を減らしても議員報酬を増やしては何もなりません。景気を反映してか、公務員の給与に連動し、この4年間は毎年のように議員報酬アップや期末手当増が提案されました。

私、井奥は「議員は当選時の報酬額が市民との約束で上限」「報酬削減はいいが、増額は許されない」として**毎回反対の姿勢を貫き、反対討論を実施**しました。そもそも職員給与と議員報酬が連動していることも改善すべきです。

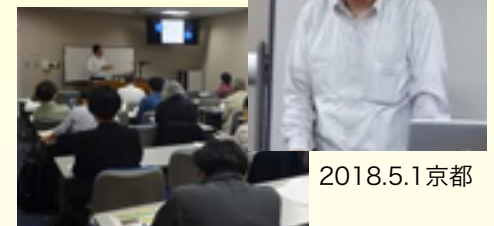
ちなみに緑の党や無所属市民派の議員仲間には同じような姿勢を貫く議員が多くいます。



議員報酬問題に真摯にとりくむ井奥議員の姿勢に共感します。

**丸尾まさき**  
(県議会議員・緑の党 市民オンブズ尼崎)

## 井奥まさき 活動アルバム



2018.5.1 京都

「この経済政策が民主主義を救う」などの著者、松尾匡さん(立命館大学教授)らの研究会に呼ばれて話しました。地方の実態を報告し、議論しました。特に121号で提言した地方銀行を活用した住宅融資制度は好評でした。

## 公園問題

## アスパ公園

## 課題を解決した後は、市民と対話して適切な計画見直しを



## 井奥の主張

- ・公園の課題解決のためには金銭解決の交渉をまとめるべき
- ・公園のあり方、関連業務地区など計画全体の見直し研究も
- ・アスパ型の開発を「西友跡地」「各駅の駅前開発」でも

都市計画上整備が必要な公園

公園

住宅が建設しにくい「関連業務地区」(立体駐車場などを想定)

緑丘にあるアスパ高砂という商業施設は高砂市の商業政策の成功例です。補助金などの市の予算を使わず、市は「都市計画」による誘導と「融資の保証」で成功を導きました。市の支出は第三セクターへの出資の5000万円だけです。ぜひとも西友・サンモール撤退後の跡地利用や沿線の駅前

開発に参考にしたい事例です。

ただ、失敗したのは都市計画で義務付けられた条件である公園整備を「見切り発車」したこと。地権者の説得に失敗して整備ができない中、商業施設をオープン。以後公園の未整備は20年続く課題になりました。

現在、金銭解決の機運が高まっています。一定の妥協は必要でしょうが早急に交渉をまとめていただきたいものです。その上で、関連業務地区も含めて、現実と違ってきた計画も見直すべきです。

## JR曾根駅

## 県道脇

## エレベーターは断念表明し、早急にJR曾根駅「南口」開設を



一つだけの改札口



JR曾根駅構内

高砂市内の駅舎・駅周辺の開発でもっとも迷走しているのがJR曾根駅です。通勤客は圧倒的に南側からが多いにもかかわらず、20年以上対応ができていないのです。私は「橋上駅」にこだわりすぎたことが失敗だったと考えます。

特に駅構内の通路が完成した後はJRも以前に増して消極的です。2016年の市長選挙直前に登市長は「橋上駅は延期し、代わりに県道沿いにエレベーター設置」と唐突に構想を打ち出しました。ところが、JR側から厳しい条件を突きつけられ、これも「延期」になりました。迷走は続いています。

幸いにも最大会派の議員からも「ICカード専用の南口開設は」と提言がありました。私は朝の時間帯は南改札口対応の人件費を市が負担してもいいと思います。橋上駅、エレベーターは早急に断念を表明し、現実的なプランB(南口開設)に移るべきです。

高砂市民まちづくり協議会 毎月第三土曜日14時～ユーアイ帆っとセンター

## 子育て日記

## 伊保小時代の修学旅行の写真を発見

新リーフレットの写真を見て「親子似ているね」と言われます。それに対して「いや昔は私はこれでも細くて小さかったのですよ、今の私の雰囲気似ているかもしれないけどね。」と書いていました。ところが小学校時代の修学旅行の写真集を見てびっくり。髪型や雰囲気がそっくりでした。

右の写真は伊保小学校時代に奈良・伊勢を修学旅行で訪問した際の列車内での食事風景。当時はJRの前身の国鉄が姫路方面から修学旅行専用の列車を走らせたのですね。

雨の中を奈良、伊勢をめぐり鹿や大仏、夫婦岩などに感動している様子が写真におさめられています。

撮影は山口先生

と書いています。堅苦しいけれど、授業は大変面白い先生でした。旅行中もずっと写真をとっていただいたんですね。息子も今年は荒井小で修学旅行。楽しい思い出を作れるでしょうか。



同じ年齢の小6息子(上)と小6時代の私(右)